

2018年3月期第1四半期 決算説明資料

2017年8月8日

田淵電機株式会社 (証券コード: 6624)

2018年3月期 第1四半期 業績の概要

- **（電源機器・エネルギーソリューション事業）**
国内太陽光発電市場は、FIT改正施行後の認定手続きの遅延が発生し当社も設置遅れ案件が顕在化。北米市場展開については、徐々に設置が始まり、今後下期に向けて販売先の拡大に向けてあらゆる施策を実行。
- **（電源機器・電源デバイス事業）**
アミューズメント向けアダプタは第1四半期からフル生産で需要増に対応しており、増収に大きく貢献。
- **（変成器・電源デバイス事業）**
エアコン用リアクタは、日本・アセアンでの需要増があったが、中国ビジネスの停滞に伴い全体では横ばいで推移。

- 2017年は通年では前年と同様に2桁での市場縮小を見込んでいるが、第1四半期は特に制度改正の影響で落ち込みが大きく下期にかけて持ち直すと思われる。

改正FIT法のポイント（2017年4月より改正法施行）

- ①：認定制度は「設備認定」から「事業計画認定」へ変更
- ②：メンテナンス（O&M）義務化
- ③：運転開始期限の導入とパネル変更が可能になった
- ④：旧認定取得者の扱い（みなし認定）
- ⑤：2017年度以降の売電単価の決まり方（入札制度等）



- 4月からの申請受付後、手続きが大きく停滞し、従来新規で1ヶ月以内に承認されていたものに2～3ヶ月を要している状況であり、市場動向に注視が必要

*FIT(再生可能エネルギー固定価格買取制度)

国内太陽光発電市場の停滞と海外拡販のスロースタートに伴い
本格回復には至っていない。経費削減は計画通り進捗

単位：百万円

	2017年3月期 第1四半期	2018年3月期 第1四半期	増減
売上高	6,329	7,130	800
営業利益	▲553	▲852	▲298
経常利益	▲819	▲829	▲9
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲424	▲838	▲414

連結セグメント別業績概要

単位：百万円

	2017年3月期 1Q累計		2018年3月期 1Q累計		前年度比増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
電源機器	3,702	▲658	4,506	▲881	803	▲222
変成器	2,627	160	2,624	83	▲3	▲76
調整額	-	▲56	-	▲54	-	1
連結計	6,329	▲553	7,130	▲852	800	▲298

電源機器事業

前年度比 +21.7%

- 国内太陽光発電市場の停滞と海外販売のスタートにて引き続き低調
- アミューズメント用電源は生産能力までフル生産を行っており増収に貢献

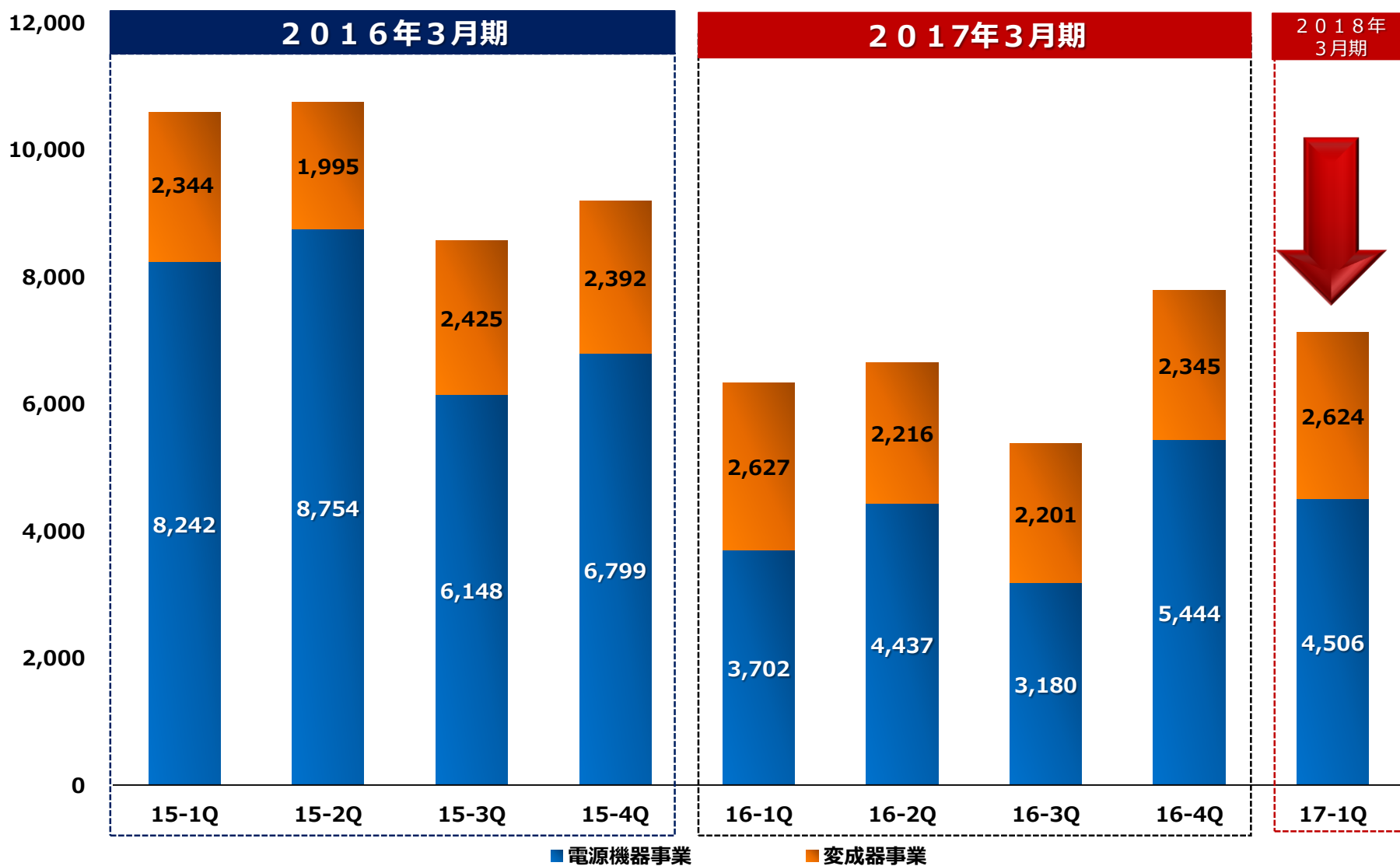
変成器事業

前年度比 ▲0.1%

- エアコン用リアクタ・各種高周波トランスは横ばい

連結セグメント別売上高四半期推移

単位：百万円

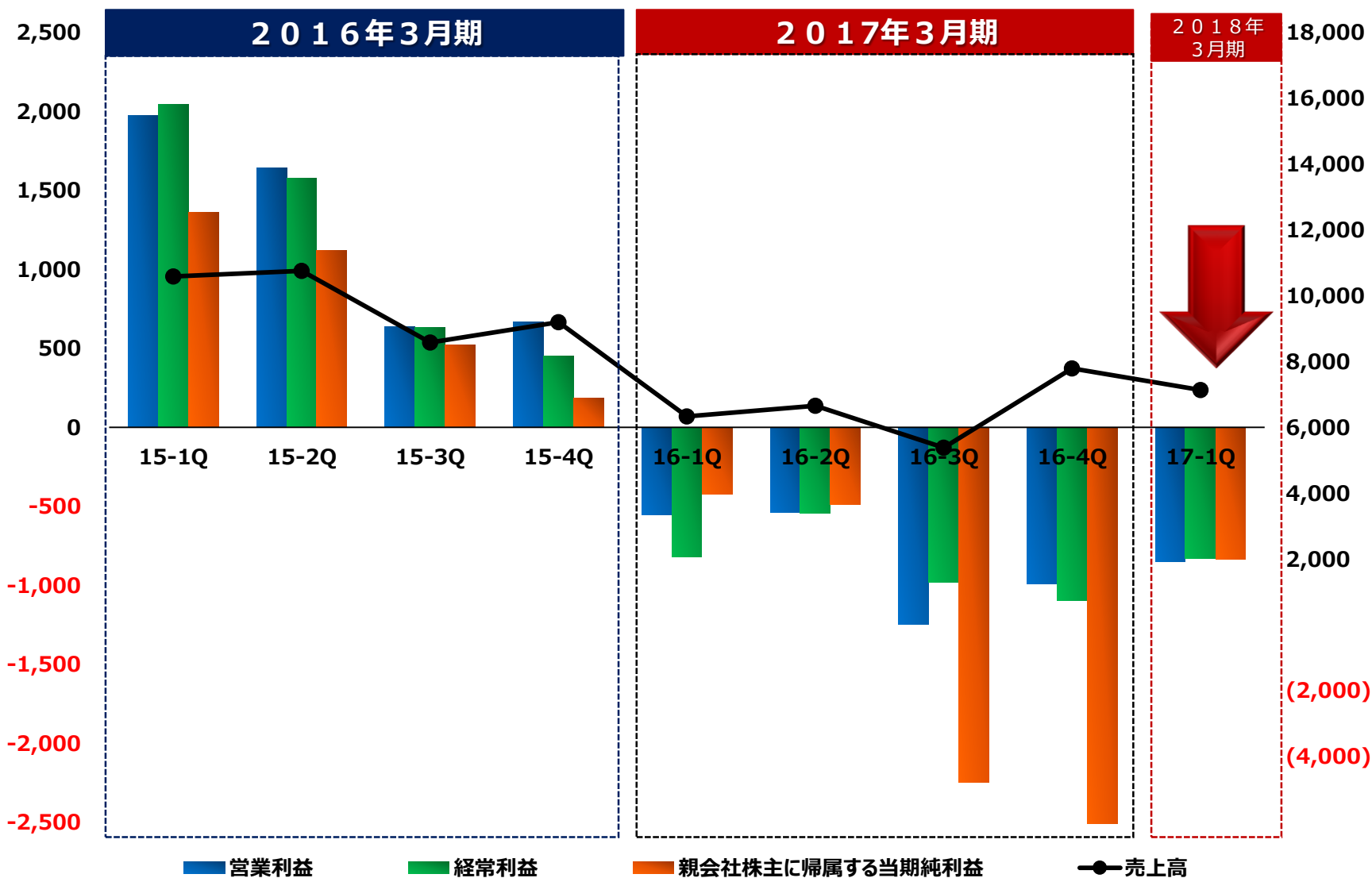


連結業績四半期推移

単位：百万円

営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益（棒グラフ）

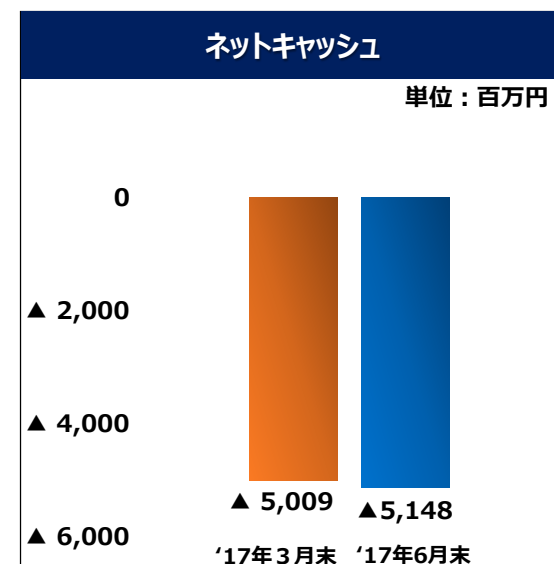
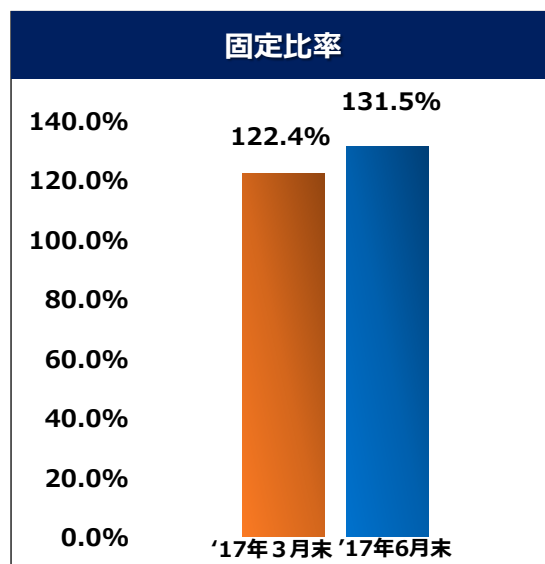
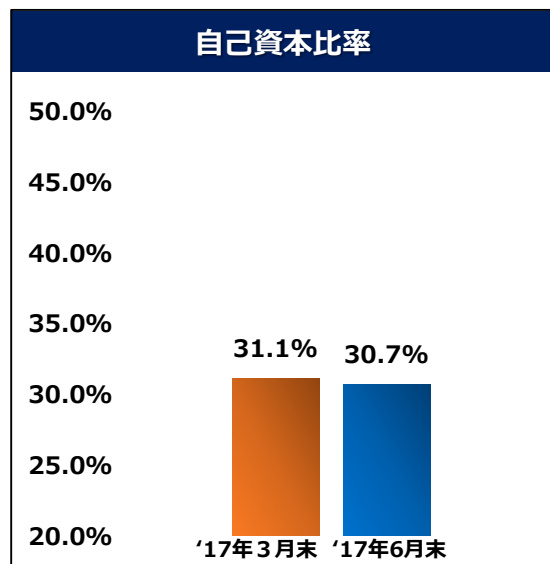
売上高（折線グラフ）



連結貸借対照表概要

単位：百万円

	2017年3月末	2017年6月末		2017年3月末	2017年6月末
現預金	4,365	3,526	仕入債務	4,434	4,341
売上債権	5,268	4,550	短期有利子負債	7,065	6,268
棚卸資産	9,064	8,453	その他（流動）	3,177	2,593
その他（流動）	1,024	1,085	長期有利子負債	2,309	2,405
固定資産合計	12,121	11,932	その他（固定）	4,951	4,868
繰延資産	0	0	純資産	9,905	9,071
資産計	31,844	29,548	負債・純資産計	31,844	29,548



**今後の取り組みと見通しにつきましては、現在精査を行っておりますので
確定次第お知らせする予定です。**

TABUCHI ELECTRIC

当資料に記載されている、当社又はグループに関する見通し、方針、戦略等は、現時点での入手可能な情報に基づき、合理的と判断した前提のもと予測したものです。実際の業績は今後起こりうる様々な要因によって異なることがあるということをご理解ください。